

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	当科に入院した急性冠症候群患者の病態解析および長期予後に与える因子の検討			
2. 対象患者	当科に急性冠症候群と診断され入院した患者様、あるいは不安定狭心症が疑われ心臓カテーテル検査を受けた患者様を対象とします			
3. 対象となる期間	2000年1月1日 ~ 2024年12月31日			
4. 実施診療科等	循環器内科、腎臓内科			
5. 研究責任者	氏名	花田 賢二	所属	循環器内科、腎臓内科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	急性冠症候群は、突然死の代表的な疾患であり、当院においても年間100名以上の患者様が入院しています。幸いカテーテル治療の普及により元気に退院される患者様が多いのですが、現在でも残念ながら救命することができない患者様もおります。また退院されてもその後亡くなったり、うっ血性心不全で入院したり、まだ未解決の問題が残されています。本研究によって、急性冠症候群の患者様における重篤な合併症の発症や退院してからの経過に与える因子が明らかとなれば、患者様個人に応じた危険性を把握することができ、診療に有用と考えられます。			
8. 研究の目的	患者様の採血データや処方、背景、心臓カテーテル検査の所見などの解析から、急性冠症候群の患者様における重篤な合併症の発症や、退院してからの経過に与える要因を見出し、今後の診療に役立てることを目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は、その方法等)	患者様の診療記録から採血データや処方、背景、心臓カテーテル検査の所見などのデータを収集し解析します。また治療後の経過につきましては、他医療機関へ紹介となった場合には、その医療機関へ問い合わせる情報を得るか、あるいは患者様、患者様のご家族に直接連絡して情報を得ることもあります。			
10. 個人情報の保護	本研究は対象となる患者様の診療記録から得られた情報を用いますが、氏名・住所・電話番号等個人を特定できる情報は利用しません。学会発表や論文とする際も、個人が特定できない形での使用となります。対象者から拒否の申し出があった場合、当該患者様のデータは使用しません。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文投稿等の成果が公表されていた場合は、その結果を修正することはできません。			
11. 利益相反に関する状況	利益相反状態にはありません。本研究は診療記録から得られる情報、および治療後の経過の調査を用いて行われるため、費用は発生しません。また関連する企業はなく、公正に実施されます。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 循環器内科、腎臓内科 助教 花田賢二			
	電話	0172-39-5057	FAX	0172-35-9190